

# 民間スイミングスクールを 活用した水泳授業に モデル的に取り組みます！



## 民間スイミングスクールのポイント

モデル事業の民間スイミングスクールは、全て屋内プールです。

室温や水温が調整でき、季節を問わず利用できます。

また、天候に左右されず利用できることや、水泳インストラクターによる指導などの特徴もあります。



## なぜ、スイミングスクールを利用するの？

### 施設の老朽化問題

公共施設の老朽化が全国共通の課題となっています。学校プール施設でも同様に老朽化が進んでいて、建て替えや改修には、多くの費用と時間が必要です。

### 近年の気候変動

近年の地球温暖化などの影響により、夏場などは猛暑日（日最高気温35℃以上）となることがあり、安全のためにプールでの水泳授業を中止することがあります。

### 施設の維持管理

プールを安全に使用するため、点検・清掃・薬剤投入・濾過装置の運転などを学校の先生が行っています。その水質管理は、早朝・夕方、休憩時間、休日に出勤して対応しています。



## モデル事業はどのように行うの？

- ✔ 令和7年度のモデル事業対象校として、施設や設備の老朽化の程度により、右の3校を選定しました。
- ✔ 利用する民間スイミングスクールは、移動時間（貸切バス利用）なども考慮して3つの施設を利用します。
- ✔ 授業時間2コマを組み合わせ、年間4～5回、1回あたり60分程度の水泳授業を確保します。
- ✔ スイミングスクールのインストラクターが水泳指導を行い、学校の先生は補助や監視を行います。

富桑 小学校 サンフィッシュスイミングスクール鳥取  
[鳥取市田園町]

用瀬 小学校 智頭温水プール（NSIリプルスイミン  
グスクール） [八頭郡智頭町智頭]

福部未来 学園 鳥取市福部ほっとスイミングプール  
[鳥取市福部町海士]



## 来年はどうなるの？

「鳥取市立学校プール施設のあり方に関する検討委員会」（令和6年設置、委員構成：学識経験者・小中PTA・教職員・行政）において、将来、水泳授業を行うプール施設がどうあるべきか研究を進め、令和7年度末に基本方針を定めることとしています。令和8年度以降は、その基本方針に沿って水泳授業を実施します。

